

# 震災から5年 慰霊碑を囲む「つながり」

被災学生39人へ 献花、黙とう行われる

震災から五年目。午後〇時から六甲台の慰霊碑では、黙とうと献花が行われ、学長と副学長、各部長などが一人づつ、花を手向けた。献花が終わった後の慰霊碑にも間断なく人が訪れて、それぞれ犠牲者を悼んだ。

五年目の慰霊碑には、亡くなった学生の家族が、訪れる時間を合わせて再会するなど、会話であふれた。競基弘さんの母・恵美子さんは「他の遺族の方とのつながりで、悲しみを分け合えた」。

また、ニュースネット一月号の震災特集『被災学生5年目の追悼手記』もこの日発行され、学内で配布が始まっている。同委員会のホームページでも同様の特集を掲載。【一月十七日 神戸大NEWS NET＝UNN】



学長をはじめ、各部長が花を手向けた。(1月17日午後〇時 撮影＝橋谷亜紀子)

特報

神戸大学ニュースネット  
**NEWS NET**  
<http://www.std.kobe-u.ac.jp/newsnet/>